

キャラクター名
研壁 双葉 (すりかべ ふたば)

プレイヤー名

シンドローム	バロール キュマイラ		ワークス	UGN支部長D	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	18	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	恐怖	初期侵食率	33	%
出自	義理の両親	経験	約束	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	3	0	0			3	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	1	0			3	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
"やめて"		0				1+2+3+4 (+6) 侵食: 8/10
"手を出さないで"		0				1+2+3+4+5 (+6) 侵食: 12/14
"傷つく覚悟"		0				7(+8) 侵食: 2/4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
<コネ: 嗜好きの友人>	
<コネ: UGN幹部>	
<コネ: 警察官>	
<コネ: 研究者>	
<コネ: 情報屋>	
<コネ: 調達師>	
<コネ: 用心への貸し>	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 起源種P		N		
義理の両親	P 慈愛	N 恐怖		
敷島 あやめ	P 友情	N 不安		
猿崎 狐太郎	P 尽力	N 偏愛		
n0a-MS07 (ニア=グフタス)	P 連帯感	N 憤懣		
	P 同情	N 憐憫		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
軍人の守り	1	2	オート	至近	自身	-	-	
効果:	カバーリングエフェクト							
イージスの盾	3	3	オート	至近	自身	-	-	
効果:	ガード値+[Lv]D個							
グラビティガード	3	3	オート	至近	自身	-	-	
効果:	ガード値+[Lv]D個							
孤独の魔眼	3	4	オート	視界	効果	-	-	
効果:	自身が含まれる「対象: 範囲、または範囲(選択)」の攻撃を自分ひとりに向けて							
斥力障壁	5	2	オート	視界	単体	-	-	
効果:	ダメージを-[1D+[Lv]*2]する							
虚無の城壁	3	2	セットアップ	至近	自身	-	-	
効果:	ラウンド間、ガード値+[Lv*3]する							
赤方偏移世界	2	2	セットアップ	視界	単体	-	-	
効果:	ラウンド間、行動値+[Lv*2]、戦闘移動+10m							
ディメンションゲート	1	3	Xジャー	至近	効果	-	-	
効果:	ポータルを作る							
ポケットディメンション	1	-	Xジャー	至近	効果	-	-	
効果:	青狸に親近感を覚えそうなやつ							
鋭敏感覚	1	-	Xジャー	-	-	-	-	
効果:	周囲に敏感になる							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「いらない、お前のような"痛み"なんていらなんだよ」

8歳の頃、本当の家族と幸せに暮らしていた。しかし、ある日。"運悪く"暴走したジャームに一家が襲われる。彼女は片目を失ったものの両親に守られた無事、代わりに両親は死亡してしまう。そのジャームの接触と、両親の死によって芽生えた感情が彼女を覚醒へと至らしめた。

なんの偶然か、そのジャームは"起源種"であったよう。彼女が"起源種"たる理由はおそらくそこではないかとUGNに噂されている。

彼女が両親を失ったあと、母親方の親戚夫婦に引き取られる。失った悲しみ以上の愛情を注がれ、現在、彼女は立ち直ることができた。通っている高校で、「敷島あやめ」いうかけがえのない友人も手に入れることができた。大切なものを再び得ることができた彼女は二度と失わまいと今日も奔走する。

現在、過去の功績が認められ支部長へ推薦されたのちに配属されることになる。